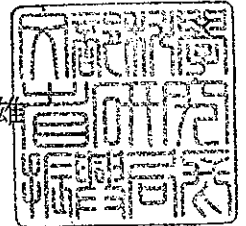


23文科振第222号  
平成23年8月29日

日本学術会議  
会長 広渡 清吾 殿

文部科学省研究振興局長  
倉持 隆 雄



震災に関する学術調査の実施に関する審議について（依頼）

本年3月11日、我が国の歴史においても、世界史的にも稀な巨大災害である東日本大震災が起きました。千年に一度ともいわれるこの大災害を多角的かつ専門的に検証し、正確な記録として残すことは、大震災を経験した世代に課された責務であり、東日本大震災復興構想会議が示した復興構想7原則の1においては、「大震災の記録を永遠に残し、広く学術関係者により科学的に分析し、その教訓を次世代に伝承し、国内外に発信する」ことが提言されました。また、「東日本大震災からの復興の基本方針」（平成23年7月29日東日本大震災復興対策本部決定）においては、今回の大震災に関し詳細な調査研究を行うこととされ、各機関の調査研究が有機的に連携し、総合的な調査となるよう配慮することが求められています。

つきましては、我が国の科学者の代表機関として科学・技術の各分野の専門家を結集している貴会議において、震災に関する学術調査の実施について御審議の上、有意義な御意見を頂戴いたしたく、御依頼申し上げます。

（本件事務連絡先）

文部科学省研究振興局振興企画課学術企画室

室長 伊藤 史恵

室長補佐 高見沢志郎

審議係長 本岡 寛子

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

電話：03-6734-4227、Fax：03-6734-4069

